

## 高齢者住宅と周辺地域社会の豊かな関係に基づく課題解決を目指した共創を開始

損害保険ジャパン株式会社(代表取締役社長:西澤 敬二、以下「損保ジャパン」)は、サービス付き高齢者住宅などの高齢者住宅と、周辺の地域社会が豊かな関係を築くことで、高齢者が安心して生活できる地域環境づくりに繋げるべく、株式会社ジェイ・エス・ビー(代表取締役社長:近藤 雅彦、以下「ジェイ・エス・ビー」)と『共創に関する連携協定』を2月22日に締結しましたのでお知らせします。

### 1. 背景・経緯

ジェイ・エス・ビーは、Unilife(ユニライフ)のブランドで全国の学生マンションの企画開発・仲介斡旋・運営管理を行っており、その高齢者事業部において、関西を中心に全国14棟の高齢者住宅を運営しています。同社は高齢者事業のコンセプトとして「地域課題を解決するプラットフォーム」を掲げ、高齢者住宅があたかも地域の公民館のように溶け込む姿を描いて、地域ごとのエコシステムづくりに着手しています。

損保ジャパンは、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスを提供する保険会社として、ジェイ・エス・ビーのコンセプトに共感し、同社との共創に向けて連携・協力することに合意いたしました。

### 2. 協定の目的と内容

ジェイ・エス・ビーと損保ジャパンは、ジェイ・エス・ビーの高齢者住宅が所在する地域にお住まいの高齢者の安心・安全・健康に資する商品やサービスの開発により、諸課題の解決に取り組むことを目的とし、以下の6項目について取り組みます。

- ① 高齢者の見守りに関すること
- ② 高齢者のコミュニティ活性化に関すること
- ③ 高齢者の住み替え時の空き家対策に関すること
- ④ 安心・安全・健康な地域づくりに関すること
- ⑤ 保険商品・サービスの開発に関すること
- ⑥ その他両社が合意した事項

### 3. 今後について

損保ジャパンは、思いを同じくする企業と連携し、それぞれの特徴や強みを合わせて活かすことで、様々な社会課題の解決に向けて取り組んでいきます。